

東日本旅客鉄道労働組合  
東京都渋谷区代々木2丁目2番6号  
JR新宿ビル13F 〒151-8512  
Tel. 03-3375-5740 (代)  
発行責任者古川建三

# JR東労組 本部OB会

# ニュース

No. 209 2015年 1月発行

## 理性を信じ仲間と共に



JR東労組OB会  
会長 古川建三

明けましておめでとうございます。昨一年間の会員の皆さんや本部、現役各関係者の皆さんの絶大なご協力に感謝申し上げます。

まだまだ東日本大震災や福島原発事故の記憶が新しい中、昨年長野神城断層地震が震度6弱の規模で発生し、多くの被害をもたらしました。幸いに死者を出さずに良かったと安堵しています。

いま東日本大震災や原発事故が、風化していく危機を感じています。被災地の想いは、今回の衆院選の結果には形となって現れませんでしたが、被災県から風化が進んでいるのです。中間貯蔵施設を巡り、大熊・双葉両町が、条件付きで決断しました。しかし最近、他県から放射性物質を含む指定廃棄物を福島県に集めて処分

## 迎春



する「福島集約論」がくすぶっています。人間の「悲しい性」を感じてため息が出ますが、理性を信じて仲間と共に前進しましょう。

### 危ない安倍政権

2012年の衆院選で絶対多数の議席を得た安倍政権は、国の借金が1千兆円を超えた中で大規模景気対策・金融緩和を実施して日本経済を円安・株高へと誘導し、消費税を8%へと引き上げました。本当に高齢者や弱者いじめの政権です。

また、特定秘密保護法施行、集団的自衛権行使を認める閣議決定、防衛装備移転三原則を決定するなど、戦争が出来る国づくりに邁進しています。

衆院選はそうした安倍政権に対して、「原発再稼働反対」、「集団的自衛権の閣議決定撤回」、「特定秘密保護法の見直し」、更に「自民党憲法草案反対」、「労働者派遣法廃案」を目指して総団結で闘うべきだったのに、そのような野党は残念ながらありませんでした。

私たちOB会はリベラル勢力の結集を目指すたしる議員の政治活動を最大限支援して行かなければ

なりません。後援会加入や紹介者カード集めなどOB会員が地域でできることは沢山ありますので会員のご協力をお願いします。

### 平和で社会保障を

敗戦から70年の年となりました。日本は「戦争」から何を学んできたのでしょうか。広島・長崎への原爆投下により終戦を迎えました。沖縄戦では「軍隊は住民を守らない」と体験者から聞き、戦争で人間が「鬼畜」になることも知りました。いま沖縄では、政府の米軍普天間基地の辺野古への移転に反対して県民一致で闘っています。政府は選挙で示された県民の民意に関わらず「肅々と進める」としています。さらに原発再稼働へと舵を切り、原発輸出まで行っています。

また政府は今回の衆院選勝利で、社会保障費を減らし、介護や年金給付を徐々に目減りさせる事を狙っています。高齢者が大切にされる社会は、平和無くしては実現しません。少子高齢化に歯止めをかけ、社会保障の基盤を再構築するため、現役と連帯した取り組みも重要です。

### OBは健康第一で

昨年の10月3日、美世志会の地位確認訴訟で最高裁の厳しい決定が出されました。「自然と人間」12月号に美世志会の梁次氏の「闘いはこれからだ」が載っています。弾圧側

の狙いに始まり、美世志会個々の苦闘が書かれています。組合員の皆さんの参考になるでしょう。松崎初代委員長が亡くなって4年が経ち、今後松崎明著作集が二年かけて全8巻が刊行される予定です。OB会も、今後の第二の人生を実りあるものとするためにももう一度学びたいと思います。そして国鉄改革時の「抵抗とヒューマニズム」を確認することが大切です。また「いかに健康に生きるのか」のたまたかにも立ち向かわなければなりません。OB会員の皆様の御健康と、ご健勝をお祈りします。

### 本年もよろしくお願い致します

- 顧問 大熊勝明
- 会長 古川建三
- 副会長 佐々木源幸
- 副会長 島崎明
- 副会長 戸谷富雄
- 副会長 竹島敏博
- 事務局長 伊藤義男
- 事務局次長 川崎昭雄
- 事務局次長 植松健
- 事務局次長 本田祥章
- OB担当 森優
- 担当書記 鈴木佳織

二〇一五年 元旦



# つ 新年のあいさ

参議院議員 たしろ かおる

明けましておめでとござい  
ます。新春を迎え、OB会の皆さ  
んも心新たにしていることと思  
います。

さて、昨年末の総選挙では自民  
党が291議席を獲得して圧勝  
し、与党で325という圧倒的な  
議席を確保する中で、1月末から  
第189回の通常国会が始ま  
ります。

## 憲法改正が組上!

いよいよ憲法「改正」がいつで  
も政治日程に入れる状況が生ま



れました。憲法9条だけは、絶対

に変えさせてはいけません。また、  
秋の臨時国会で廃案になった派遣  
労働法の改正や、労働者保護ルー

ルの法律改正も改めて提出される  
可能性が高いと言えます。東日本  
大震災と原発事故を経験した私た  
ちは、原発の再稼働を許さず「脱  
原発」社会を目指すために、全人  
類的に叡智を結集するべきと考  
えています。

## 手の温もりが今も

さて昨年一年間は、OB会の皆  
様には大変お世話になりました。  
各地から貸し切りバスで国会へ  
来られた皆様方と、直に「年金」  
や「介護」、「医療」等の社会保障  
に関するご意見を伺い、今後の国  
会活動に大変勉強になりました。  
OB会員、ご家族の皆様方の負

## 公設秘書

富士浩信  
佐々木 求  
司馬俊枝



今年もよろしくお願ひいたしま

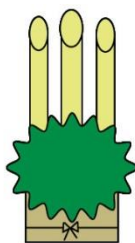
託にこたえるためにも、皆さまの  
手の温もりをいつまでも絶対忘れ  
ません。

## 今年もOBの声を国会へ

今年の国会は、国の方向性を決  
めて行く重要法案や高齢者、弱者  
たちの社会保障制度に関する法案  
が目白押しで、大変厳しい闘いと  
なることが予想されます。

OB会員やご家族、エルダー組  
合員らの声を少しでも国会に届け  
るようがんばってまいりますので、  
また一年間どうぞよろしくお願ひ  
します。

2015年1月



## 年頭のあいさ

安倍政権の暴走を止め、平和と民主主義、国民の暮らしを守ろう!

## 民主党の国会闘争と現退一体の院外闘争結合で



日本高齢・退職者団体連合  
会長 阿部保吉

会員ならびにご家族の皆様2015年の年頭に当たり、謹んで  
新春のごあいさつを申し上げます。

東日本大震災から3年10ヶ月、福島原発事故の除染や汚染水な  
ど被災地の復興遅れに対する責任が、政府に厳しく問われていま  
す。ところが安倍首相は、昨年12月、被災地の皆様を置き去りに  
して、国会を解散し総選挙を実施しました。この選挙は、円安倒  
産に揺れる地場産業や物価の高騰にあえぐ国民を顧みない大義な  
き国会解散であり、安倍首相自身の長期政権を狙う選挙だと酷評  
されながらも、民主党は73議席にとどまり自民党の圧勝を許す結  
果となりました。

安倍内閣は、この選挙結果を背景に集団的自衛権行使の関係法  
律を制定し、ついで憲法改正に着手するとしています。また、労  
働法制や社会保障制度改悪の攻勢も、一段と強まることも必死で  
す。しかし、民主党を中心とする国会闘争と現退一体の院外闘争  
を結合することにより、安倍政権の暴走を止め、平和と民主主義  
を守り国民の暮らしを守ることが出来ることを確信します。

2015年1月1日